

令和7年度 第2回地域密着型サービス運営推進会議 報告書

日時：令和7年6月20日（金）10：00～11：00

場所：くらすところ御はつ 事務所

参加者： （民生委員）・ （市役所高齢福祉課）・ （利用者様ご家族）

議事録

管理者より：利用状況では、4/29 退所されたご利用者様は体調不良による入院から退所に至りました。また、5/28 入所されたご利用者さまが6/14 体調不良のため入院している。ヒヤリハットでは、4月の転倒では居室で尻もちをつかれました。薬のヒヤリハットでは落薬や未服用がありました。新規入居者様による居室での転倒が3件ありました。

4月に毎年、市が委託しているサービス向上のための外部評価がありました。ご家族様にも事前にアンケートをお願いしていますが、18 家族中 17 家族が返答しており、返答率が高いと評価されました。ご家族からは、転倒が多く安全面に配慮してほしい、脂質の高い料理が続くと高齢なので食べにくいと、といったご指摘や、ケアプラン内容について説明が丁寧で職員の対応も良い、ダンスの中がいつも整頓されて嬉しい、などの声がありました。

民生委員 より：転倒が多い、食事についてどのような対策をしているのか？

→食事については、作ったメニューを県立^{飯立}に表に記載して、同じメニューにならないようにバランスを考えて提供している。

転倒については、センサーやコールがないことは入居前にお伝えしてご理解はいただいている。なるべく行動制限せずに過ごしていただいているが、居室に戻られた際に歩行器を出やすいように向きを変えたり、通りやすい動線を作るようにしている。また転倒リスクの高いご利用者様の優先順位を職員間で共有し対応している。居室での転倒事故が多いので、ご利用者様によっては居室のドアを20 cmほど開けさせていただき、職員が居室の前を通る度にご利用者様の様子を確認させていただいている。

民生委員 より：センサーなどの器具に頼ると安全だが、くらすところの方針にそぐわないと思う。職員さんは大変であるが、御利用者様の幸せを考えると現状を維持できるように頑張ってもらいたい。
→ご利用者さまが完全に満足してもらうことは難しいと思うが、少しでもそう思ってもらえるように努力したい。

民生委員 より：他施設との交流はあるのですか？
→基本的には交流はない状態ですが、当事業所が行なっている OFF-JT に参加することで、他事業所の職員も参加しているのでその時に交流はあります。また、毎年実践者研修に参加しており、その時に他事業者の職員と交流することはあります。

管理者より：6月から訪問者様や面会者様に対して検温と面会表を中止しました。
理由としては、開所してから今まで面会表を見返すことがなかったこと、市に問い合わせしたところ各事業者の判断に任せるとの見解であったためです。
また県外からの面会者様に対しては、口頭で体調確認しています。

高齢者福祉課 より：つい先日も経営難により倒産した施設がニュースになっており、ご利用者さまが他施設に移られるといったことがありました。グループホームにおいては毎月、入退所者、居室の空き状況や待機者を知らせていただいております、今回そういったご利用者さまへの対処がスムーズに行えました。
社会福祉法人では経営指導はできるのですが、民間の福祉施設に対しての経営指導は難しく介入しにくいのが現状です。

より：今の時期、職員さんは空調管理が大変なのでは？利用者が自分で設定することは難しいと思います。エアコンによっては自動モードが設定でき、適切な温度管理、風向きを調節できるものもあるので、次購入されるエアコンには自動モードがあるエアコンを購入してはどうか？
→居室の温度湿度は気にかけており、職員が見て回っている。特に午前と午後で日の差し込み具合が違うため、注意している。また利用者さまと職員では体感温度も違うため、衣類なども気にかけています。

民生委員

より：今後の活動は？

→去年は8月に庭でご家族様も招待してBBQを行ったが、今年は涼しくなってからと考えています。流しそうめんも出来たらと思っています。

ご利用者さまのお誕生日には外食でたまきへ職員と出かけたり、牛丼をよく食べておられた利用者さまと昼食に牛丼を買いに行ったりしました。